

米国 受注増が続くも需要の脆弱さが窺われる（09年7月製造業受注）

発表日：2009年9月3日（木）

～先行きも緩やかな回復が続こう～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛（おおみさわ たけし）

03-5221-4526

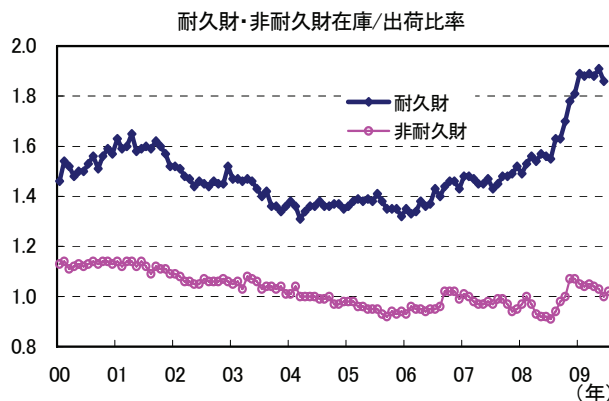
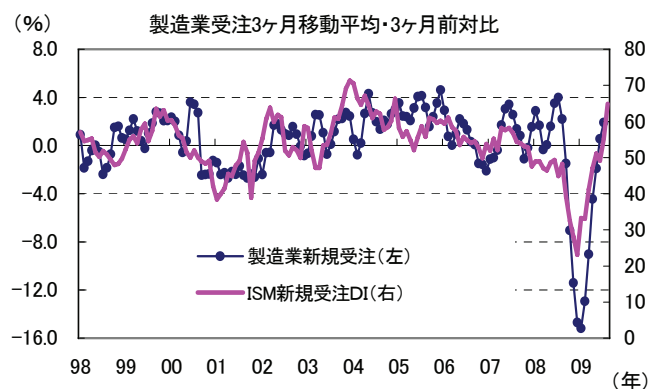
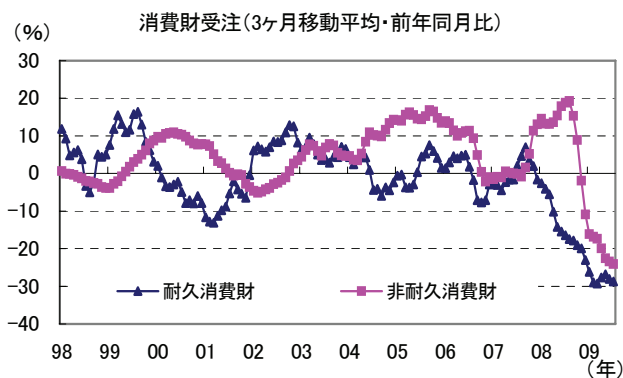
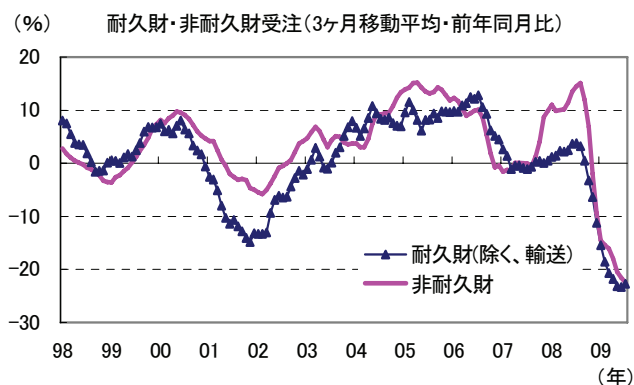
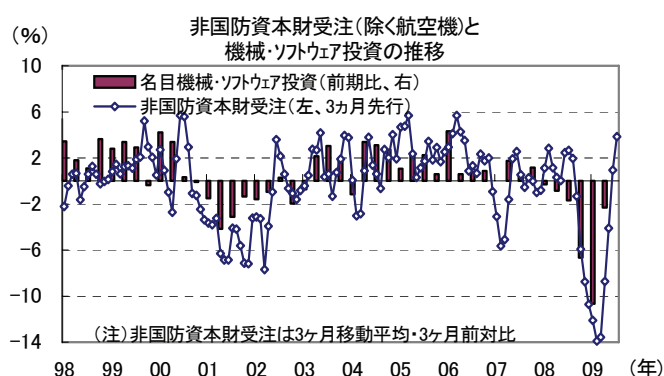
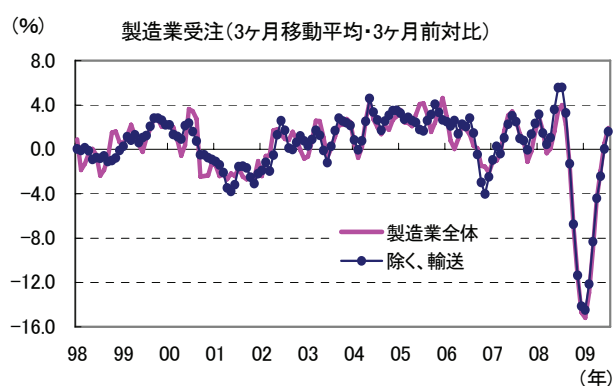
- 7月の製造業受注は前月比+1.3%（前年同月比▲23.2%）と、前月同+0.9%（同▲23.6%）から加速し、4ヵ月連続で増加した。もっとも、非国防航空機・同部品の受注が前月比+105.1%と大きく上振れたことが主因であり、輸送機器を除いた製造業受注は前月比▲0.7%と減少し、需要の脆弱さが窺われる。同統計は単月での変動が大きいため、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、製造業受注は+1.9%（前月+0.6%、前々月▲1.9%）と海外経済の持ち直しと、在庫調整の進展により回復基調にある。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比▲0.3%（前年同月比▲21.4%）と前月同+3.8%（同▲20.9%）から減少に転じており、設備過剰感の強さから設備投資需要の回復力の弱さが窺われる。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、+3.8%と（前月同+0.9%、前々月同▲4.1%）需要は弱いながらも回復基調にあり、年後半の名目機械・ソフトウェア投資の拡大が予想される。
- 耐久財受注の内訳をみると、一次金属、加工金属はそれぞれ、前月比+2.7%（前年同月比▲45.0%）、同+3.0（同▲17.9%）と金属価格の上昇により受注は増加している。機械は同▲6.3%（同▲33.3%）と設備投資需要の弱さを反映し減少した。コンピュータ・電子製品は+1.9%（同▲5.5%）と在庫調整の進展により3ヵ月連続で増加した。輸送機器は同+18.5%（同▲23.6%）と非国防航空機・同部品の受注が大幅に上振れたことや、自動車買い替え促進策の効果も加わり自動車・同部品が増加に転じた。家具・同関連製品は同+2.2%（同▲22.9%）と4ヵ月ぶりに前月比で増加した。
- 先行きについては、7月末から8月24日にかけて実施された自動車買い替え支援策の効果から、足元では自動車・部品をはじめ関連産業の受注が押上げられているとみられ、8月は前月比で受注が加速するとみられる。その後は、自動車買い替え支援策の効果が剥落するとみられるが、海外経済の持ち直しや在庫調整の進展により、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均して見ると製造業受注は年後半、拡大が続くとみられる。しかし、設備稼働率が低水準にあることや雇用環境の悪化が続いていることから、設備投資や消費の回復は脆弱な状況が続くとみられ、製造業受注の増加は緩やかなものに留まると予想される。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業		非国防資本財	製造業		非国防資本財				製造業		非国防資本財
	除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機					
08/08	▲3.7	▲3.1	▲2.1	▲4.3	(+3.9)	▲3.6	(+8.2)	▲2.3	(+1.6)	+0.7	+0.7	+0.7
08/09	▲3.1	▲3.8	+1.7	▲3.1	(+0.9)	▲4.3	(+3.1)	▲3.4	(▲1.7)	▲0.8	▲0.9	+0.1
08/10	▲3.6	▲3.4	▲3.7	▲6.0	(▲6.3)	▲5.1	(▲3.3)	▲6.7	(▲6.1)	▲0.6	▲1.0	+0.3
08/11	▲6.5	▲6.8	▲1.3	▲6.5	(▲13.8)	▲6.0	(▲10.8)	+1.1	(▲5.1)	▲0.5	▲1.1	+0.0
08/12	▲3.3	▲3.9	+0.1	▲4.9	(▲19.5)	▲5.4	(▲16.1)	▲5.9	(▲14.6)	▲1.9	▲2.8	+0.5
09/01	▲2.6	▲2.4	▲9.4	▲3.5	(▲20.5)	▲2.4	(▲17.8)	▲12.3	(▲24.5)	▲1.1	▲1.2	▲0.8
09/02	▲0.5	▲0.6	▲0.2	+0.7	(▲19.7)	+0.5	(▲16.1)	+4.1	(▲20.6)	▲1.3	▲1.5	▲0.9
09/03	▲1.8	▲2.2	▲1.7	▲1.9	(▲22.3)	▲2.1	(▲20.0)	▲1.4	(▲20.9)	▲1.2	▲1.2	▲1.6
09/04	▲0.5	▲0.5	▲2.9	+0.5	(▲22.9)	▲0.2	(▲22.3)	▲3.5	(▲26.0)	▲1.2	▲1.5	▲1.2
09/05	▲0.8	▲0.0	▲0.4	+1.1	(▲22.8)	+0.9	(▲22.3)	+4.3	(▲22.6)	▲0.8	▲0.9	▲1.2
09/06	+1.8	+1.9	+1.4	+0.9	(▲23.6)	+2.7	(▲22.2)	+3.8	(▲20.9)	▲1.1	▲1.4	▲2.2
09/07	▲0.0	▲0.1	+0.8	+1.3	(▲23.2)	▲0.7	(▲23.2)	▲0.3	(▲21.4)	▲0.7	▲1.1	▲1.7

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。○内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。